

# 外国語科学習指導案

指導者 森澤 葉子

- 1 日 時 令和5年11月18日(土) 第2校時(10:05~10:55)
- 2 学年・組 中学校第1学年2組 計40名(男子21名, 女子19名)
- 3 場 所 中学校1年2組教室
- 4 教材名 NEW HORIZON 1 Unit 9 Think Globally, Act Locally –Peace for All–
- 5 単元について

英語の授業をつくる上で大切にしていることは、自分ごととして「考える」ことと、既習表現を使って自分の言葉で「表現する」ことである。今回授業を計画する際には、教科書の内容のみならず、所属学年の総合的な学習の時間や、本校の特色の1つでもある国際交流活動と関連づけ、教科横断的に発展させることができるように単元開発をした。

本校の総合的な学習の時間は、「国際人になる」ことをキーワードに、教科等の授業・国際交流・SMART (Shinonome Mission Action Research Tour) プログラムの3つの柱で構成されている。教科等の授業では、自分の興味・関心のあることを考え、将来の生活や職業で使う知識・技能を習得すること、国際交流では多元的価値観や表現を学ぶこと、SMART プログラムでは個人研究テーマを決め、学年が上がるにつれて深みや広がりができるような研究活動をすることを目標としている。1年次は広島市内、2年次は広島市以外の広島県内、3年次は県外で1つの研究テーマに基づいて研究活動を深めていく。

所属学年である第1学年の総合的な学習の時間は「平和」をテーマに進めている。広島で教育を受ける者として、戦争や原爆の実相を知り、多様な価値観や考えに触れることが大切だと考えているため、平和や戦争について知ることを1学年の目的としている。2学年では平和や戦争についての知識を磨き、3学年ではそれらを発信する活動を考えている。1年次のSMARTプログラムで、被爆樹木や碑めぐり、平和記念資料館を訪問し、平和について触れながら学習した中で、「被爆の実相を伝えていきたい」という生徒の意見が多くあったため、今回の課題設定とすることにした。

本校の国際交流活動では、毎年3月にアメリカの姉妹校が来日して異文化交流を行っている。その交流に向けて既習表現を使ってコミュニケーションが取れるようにすることを英語の目標の1つとしている。また、今年度より新たな取組として、姉妹校とペンパルプログラムを行っている。手紙1つとっても異文化交流をすることができ、書いて伝えるコミュニケーションの絶好の機会であるといえる。1年生にとって手紙の内容を理解することは簡単ではないが、同年代が書く英語に興味を示し、姉妹校の生徒が書いた英語を真似したり、相手のことを知るための質問をじっくり考えたりしており、とても意欲的に取り組んでいる。

本単元は登場人物のメグが、ケニアの病院で働いているところを挙げて、自身の目標とする人の紹介スピーチをしている。国際協力・交流イベントを通して、発展途上国に住む子供達の生活やボランティア活動を学び、世界に目を向けて自分にできることや、実行する必要のあることを考えることができる。Think Globally, Act Locally の通り、教科書の内容を元に生徒の「平和について伝えたい」思いを、校外学習で学んだことを生かして次世代の平和の担い手として発信できるような単元開発を行った。今回単元開発を行う際には、OECD Education 2030 プロジェクトにある、新たな価値を創造する力・対立やジレンマを克服する力・責任ある行動をとる力の、3つのコンピテンシーと AAR サイクル (Anticipation (見通し)・Action (行動)・Reflection (振り返り)) を参考に、生徒が考えて表現する授業づくりを行った。

## 6 教材の目標

- (1) ヒロシマと平和の現状と課題について理解できる。
- (2) 姉妹校の生徒に向けて、ヒロシマと平和について既習表現を使って表現できる。
- (3) ヒロシマと平和について、姉妹校の生徒に自分たちが伝えたい内容や視点を自分たちで考えて、伝えようとしている。

## 7 指導計画（全 11 時間）

次	時	学習内容
1	1	世界の子供達の現状を知る・SDG s について考える
	2	Unit 9 文法
	3	Unit 9 内容理解①
	4	Unit 9 内容理解②
2	1	原爆の実相について知る
	2	伝えたいことと意見を考える（家庭学習）
	3	インタビューの方法を学ぶ・動画撮影①
	4	平和に関するインタビュー番組を作る・動画撮影②（本時）
	5	インタビュー番組を練り直して完成させる
3	2	姉妹校の生徒に自分たちが考える平和について意見交流する（全 2 時間）

1 次：Think Globally, 2 次：Act Locally, 3 次：Think Globally

## 8 本時の目標

校外学習の学びを通して、平和に関するインタビュー番組を作ろう【主体的に学習に取り組む態度】

## 9 「教科等本来の魅力に迫るための教師の資質能力」との関連

基準	具体的な児童・生徒の姿
Ⅲ	ヒロシマと平和について校外学習での学びを生かして、伝えたい内容や視点を、個人や異なるグループからの学びも取り入れ、かつさらに自身のグループの内容が深まるように、考えたことや工夫したいことをワークシートに記述できている。
Ⅱ	ヒロシマと平和について校外学習での学びを元に、伝えたい内容や視点を、個人で考えたことや異なるグループからの意見を参考にしながらグループで考えたことや工夫したいことをワークシートに記述できている。
Ⅰ	伝えたい内容や視点を他の意見を参考にしながら考えていない・ワークシート未記入
手立て【関連する教師の資質能力】	
<p>○ 伝えたい内容や視点を考えさせるために、家庭学習で個人思考させ、本時の授業で集団思考させる場面を設ける。また、自分たちで考えさせたいため、集団思考の際は異なるグループの意見も参考にできるようにする。【授業構想力】</p> <p>○ ゴールの姿や視点の持ち方を共通認識させるために、1 グループ選んで全体でシェアする。そのグループの工夫点や視点は生徒から意見が出るように声かけをする。【授業実践力】</p> <p>○ 動画作成にあたり、伝えたい内容や共有したい内容を考えさせ、達成するために必要なことを、見通しを持って自分たちで考えて行動できるようにする。【授業構想力】</p>	

## 10 学習の展開

学習活動と内容	指導上の留意点（◆評価）
1. Unit 9 の振り返り・校外学習での平和学習の振り返り及び、本時の目標の提示（5分）	○目的、場面、状況を提示して、共通認識させる。
校外学習で学んだことを元に、インタビュー番組を作ろう	
2. 動画①視聴・意見交流①（10分） ・あらかじめ撮影していた動画を元に、異なるグループで集まり、共有したい内容と視点をシェアする。  3. 意見交流②（5分） ・異なるグループの意見を持ち寄って内容をシェアする。  4. 動画撮影の準備（15分）     5. 動画撮影（5分）  6. 全体交流（5分）    7. 振り返り（5分）	○動画撮影②に向けて、10分間で何をするか見通しを持たせるために考えさせる。 ◆平和について伝えたい内容や視点を自分たちで考えることができている。【主体的に学習に取り組む態度】  ○3分程度の動画を撮影させる。  ○おもしろい視点や内容に工夫のある班を選んで全体でシェアする。 ○生徒から意見を出させる。  ○振り返りシートに記入させる。